

我が国には、世界に卓絶する工芸の伝統があります。伝統は、生きて流れているもので、永遠にかわらない本質をもちながら、一瞬もとどまることのないのが本来の姿であります。伝統工芸は、単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。伝統こそ工芸の基礎になるもので、これをしっかりと把握し、父祖から受けついで優れた技術を一層錬磨するとともに、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。昭和25年、文化財保護法が施行され、歴史上、若しくは芸術上特に価値の高い工芸技術を、国として保護育成することになりました。私どもは、その趣旨にそって、昭和29年以来陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、諸工芸の7部門にわたり、各作家の作品を厳重鑑査し、入選作品によって日本伝統工芸展を開催してきました。

このたび、第71回展を開催し、広く人々の御清鑑を仰ぎ、我が国工芸技術の健全な発展に寄与しようとするものであります。重要無形文化財保持者、受賞作家、近畿在住作家の作品を中心に、入選作品約300点を一堂に展覧いたします。



日本工芸会総裁賞
鐵地象嵌花器
原 智



文部科学大臣賞
神代杉造箱
角間 泰憲



東京都知事賞
型絵染着物「あすなろの森」
遠藤 あけみ



NHK 会長賞
五金彩鉢「遊ぐ月」
高橋 朋子



朝日新聞社賞
螺鈿堆錦箱「汽水域」
松崎 森平



日本工芸会会長賞
七宝鉢「律」
安藤 令子



日本工芸会保持者賞
銀泥彩磁鬼灯文鉢
井戸川 豊



日本工芸会奨励賞
友禪着物「汽水域」
尾崎 久乃



日本工芸会奨励賞
蒔絵箱「盛夏」
田中 義光



日本工芸会奨励賞
花籃「兆」
大木 淑恵



日本工芸会奨励賞
裁金飾箱「宙の調べ」
江里 朋子



日本工芸会新人賞
城端蒔絵飾箱「Eclipse」
小原 治五右衛門

同時
開催

「工芸の美—未来へ—」

7階グランドホール前 特設会場
第71回展出品作家による暮らしに寄り添う作品を展覧いたします。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本工芸会近畿支部

〒604-8183 京都市中京区高倉通三条上る 京都府京都文化博物館内

TEL. 075-252-5205

<https://nihonkogeikaikinki.jp/>

